学校番号	３０３２Ｂ

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）現代文演習Ａ	単位数	１単位	年次	３年次前期
使用教科書							
副教材等	「現代文アチーブ２　四訂版」　桐原書店						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・就職試験や受験で国語の試験があり、文章読解力を付けたい人におすすめの講座です。
・現代文演習Ａでは、「現代文アチーブ２」の１～１５の文章問題を実施します。
　残りの１６～３１の文章問題は、後期の現代文演習Ｂで実施しますので、継続履修をお勧めします。
・授業では文章の解説を中心に行いますので、予習（宿題）をしっかりやることが前提です。

2　学習の到達目標

・小説、随想、評論、各ジャンルの特徴を理解し、筆者の主張を読み解くことができる。
・文章の内容を理解し、意味段落で段落が分けができるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文章読解に必要な語句の意味や漢字の読み書きを身に着けるようにしている。また文と文を繋ぐ、接続詞を上手く使えるようになる。	小説、随想、評論、各ジャンルの文章の特徴を理解し、読み進めることができる。また内容を理解し、意味のまとまりで段落分けができるようになる。	何度も文章を読み、深く内容を理解しようと努めている。また理解できない言葉などを積極的に調べ理解しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	○評論「待つことなく待つ？」 ○随想「商店街が遠ざかる」 ○随想「花より団子か、団子よりは花か」 ○小説「時の筏」 ○評論「道徳を問いなおす」 ○随想「案内者」 ○小説「阿弥陀堂だより」 ○俳論「草の戸も住替る代ぞ」 ○随想「どくとるマンボウ青春期」 ○評論「コミュニティとしての医療」 ○評論「遊びと生きがい」 ○評論「時間と自由の関係について」 ○小説「胡桃割り」 ○評論「欠乏する文化と氾濫するコミュニケーション」 ○評論「はじめに言葉ありき」	a:既習内容または新たに学習した語句の意味を理解できているか。またその語句の漢字の読み書きができるか。 b:単元ごとの文章を何度も読み込み、内容を深く理解しようとしているか。また内容ごとに段落を分けられるか。（読） c:文章内容を理解しようと、何度も文章を読んでいるか。	小テスト 単元考査	作文（要約） 単元考査	提出物 振返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間